



やっぱり、家族っていいね。

**家族の日  
家族の週間**

このコンクールは、こども家庭庁の「家族の日」  
「家族の週間」の趣旨に賛同しています。



**令和5年度**

## 家族への手紙コンクール最優秀賞作品集



石川町青少年健全育成推進協議会

石川町教育委員会

後援：福島民報社、福島民友新聞社、町民ニュース社、夕刊いしかわ新聞社



## 【目次】

### 最優秀賞作品

「ばあちゃんへ」

石川小学校 一年 瀬戸山 雛蘭 1

「パパへ」

石川小学校 二年 鈴木 感人 2

「おばあちゃんへ」

石川小学校 三年 添田 莉心 3

「ひいばあちゃんへ」

石川小学校 四年 二瓶 耀太 4

「ぼくのお兄ちゃん」

石川小学校 五年 佐川 遼 5

「お母さんへ」

石川小学校 六年 郷 結楠 7

「ずっとそばにいてね」

石川中学校 一年 曾根 秀祐 9

「感謝と幸せ」

石川中学校 二年 矢内 咲幸 12

「感謝の言葉」

石川中学校 三年 円谷 美結 14

「大好きなじいじへ」

福島県立石川高等学校 二年 瀬谷 志穂 17

### 優秀賞・優良賞入賞者

20

### 【家族への手紙コンクールの趣旨】

生きとし生けるものは、親から子へ、そして子から孫へ、古来からその尊い命が受け継がれ、現在に至っています。子どもたちは成長し、やがて親となります。命を後世に伝え、命の大切さを強く認識し、家族愛を一層確かなものにするため、「家族への手紙コンクール」を実施しました。

ばあちゃんへ

石川小学校 一年 瀬戸山 雛蘭

ばあちゃん。じいじといってるままのかわりに、  
いつもおせわをしてくれてありがとう。

「ひなちゃん、あそぼうか。」

「ひなちゃん、おさんぽいこう。」

って、いつもそばにいてくれるね。そんなばあち  
ゃんがちいさいころからだいすき。いまはもっと  
もっとだいすき。

ばあちゃんは、わたしがさびしいとき、たくさん  
わらわせてくれるね。しかるときもあるけど、ぎ  
ゅっとしてくれるし、にこってしてくれるばあち  
ゃんがだいすき。ばあちゃんがそばにいてくれる  
となんでもだいじょうぶっておもえるよ。

ありがとう。

パパへ

石川小学校 二年 鈴木 感人

パパ、いつもやきゅうをしてくれて、ありがとう。ぼくがはじめて、パパのカーブをうって、ホームランになった時、「すごいぞ、ナイス。」とほめてくれたね。すごくうれしかったよ。

でも、ぼくがホームランをうてたのは、うちやすいように、なげてくれたからだね。だから、もっともつとホームランをうちたくなるよ。

「かん人は、もつとうまくなる。」これは、ぼくとパパの合いことば。このことばで、いつもゆう気が出るよ。つぎは、へんかきゅうをうちたいな。また、やきゅうをしようね。いつもありがとう。

おばあちゃんへ

石川小学校 三年 添田 莉心

おばあちゃん、いつもありがとう。仕事が終わってからのいつも「お帰り。」と、おむかえに来てくれてありがとう。ママが来れなくてもさみしくないよ。

はたけにたくさん野さいを作ってくれて、いつも新せんな物を食べさせてくれてありがとう。野さいは、にがてな物が多くてあまりすすまないけど、れんしゅうして食べれるようにがんばるからね。夏野さいって、ほう石ばこみたいだね。

この前のかしわもち作り、生地もあんこも手作り、とっておいしかったよ。作るのも楽しかったし、葉っぱの大きさにビックリした。「私の顔より大きいね。」って、みんなでわらったね。おばあちゃんとすごす時間は、自ぜんにふれあえるきちょうな時間。この時間を大切に私もおぼえておきたいな。

いつもはずかしくてす直に「ありがとう。」って、言えないけど、言いきれないくらい思っているよ。「ありがとう。」大好きだよ、おばあちゃん。これからも元気でいてね。

ひいばあちゃんへ

石川小学校 四年 二瓶 耀太

ひいばあちゃんは今年九十六さいになったね。  
ぼくがねている時によく、「ようちゃん、ばあちゃん  
はここだよー。」と心配しているね。ぼくは、  
小学四年生になって、けがもしていないし、元気  
だから安心してね。

ぼくは、ひいばあちゃんとトランプで遊ぶのが  
楽しくて大好きだよ。ババぬきでは、いつもは  
じっこを取るから、ババがひいばあちゃんのとこ  
ろによく行くね。ぶたのしっぽでは、カードをい  
っぱいもらうと、いつも、「こがね虫は金持ちだ、  
金ぐら立てて、くら建てた。」って歌うよね。そし  
て、分からなくなると、「なにがなんだかわつから  
ないのよおだ。」っていつも歌うね。いろいろおも  
しろいことを言うから、いっしょにいて楽しいよ。

これからもおいしいものをいっぱい食べてもつと  
長生きしてね。また、いっしょにトランプして遊  
ぼうね。大好きだよ。

ぼくのお兄ちゃん

石川小学校 五年 佐川 遼

ぼくにはお兄ちゃんが一人います。ぼくはお兄ちゃんが沢田サッカースポーツ少年団で活動していた影響もあり、二年生から同じ沢田サッカースポーツ少年団に入部しました。

沢田では、三年間サッカーを続けました。ぼくは、キーパーを二年間やりましたが、少年団の練習がない時は、お兄ちゃんと家や沢田自治センターのグラウンドへ行き、パスやシュート、ドリブルなどを教えてもらいました。大会に出た時は、優秀選手賞を何度かもらうことができましたが、お兄ちゃんと一緒に練習したおかげだと思っています。優勝することもできました。とってもうれしかったです。

しかし、五年生になる時、沢田サッカースポーツ少年団は人数が少ないためにチームが作れなくなってしまうました。ぼくは、ずっと続けてきたサッカーをこれからも続けたいと思いケップオーレ石川へ入部しました。続ける理由の一つに、お



兄ちゃんが存在があります。お兄ちゃんは中学校でサッカー部に所属しています。三つ年が離れているので、ぼくが中学校一年生になった時、お兄ちゃんは卒業していませんが、それでもお兄ちゃんのをいたサッカー部に入りたいです。

勉強では、分からないところがある時は、時々教えてくれます。特に国語の漢字を教えてもらいました。

お兄ちゃんは、ミニ四駆が好きで、自分で作ってコースを走らせています。ぼくは、ミニ四駆には興味は無かったけれど、お兄ちゃんが楽しそうにやっている姿を見ていたら好きになりました。お兄ちゃんは、ミニ四駆の作り方も、ぼくにいろいろと教えてくれました。ゲームセンターでも、お兄ちゃんの影響で車のゲームに夢中になりました。

ぼくは、これまでサッカーや勉強、そしてミニ四駆などの遊びもお兄ちゃんに沢山教えてもらいました。なんでもやさしく教えてくれるお兄ちゃん、本当にありがとう。いつも優しくしてくれて本当にありがとう。

お母さんへ

石川小学校 六年 郷 結楠

これが当たり前だと思っていました。

毎日ご飯が出てくること。毎日洗たくしてあること。毎日そうじがしてあること。いつも決まった時間にお風呂に入り、整った布団でねられること。これが当たり前。

だれよりも早く起きて、一番最後にねむる。毎日だれかにほめられるわけでもなく、お金がもらえるわけでもない。ご飯、洗たく、そうじ、育児。一つでもやっていなければ、みんなが困り、注意をすれば口うるさいと言われる。そして仕事まで。家に帰れば家の事を時間内にテキパキとこなす。これが当たり前に思われる。

それが職業、それが母親。

どうしてそんなに頑張れるんですか。私も大人になれば出来るのですか。どんな立派な人でも、お母さんにはかなわないと思います。

初めての登校の時、いつまでも手をふり続け、笑って見送ってくれました。とても安心できたことを覚えています。

心にうれしいことがあったとき、私よりよろこんでくれて。ケガをして帰った日は、なんだか私よりいたそうで。本気でおこられたときは、とても悲しそうな表情をしますよね。自分のことは後回しで、だれよりも家族を大切にしてくれる。そんなに大事に育ててもらっているから、口うるさくていやなときもあるけど、とても安心することができます。

お母さんが思っているような子に、私はなれていますか。

これから先、うれしい事や楽しい事、辛い事やくやしい事、色々あると思います。同じ時間をすごしていく中で、時にはケンカをすることもあるかもしれません。口では生意気な事を言うかもしれませんが、心の中はちがいます。

お母さん、いつも本当にありがとう。

ずっとそばにいてね

石川中学校 一年 曾根 秀祐

おじいは、天国で先輩猫たちと楽しく暮らしているのかな？三か月前に死んでしまった時は悲しかったし、さびしさを胸が張り裂けそうだったよ。でも、今おじいとのことを思い出すと楽しかったことが多すぎて、自然と笑顔になっちゃうんだ。僕が生まれる前は「リゾット」って名前で呼ばれていたのに、僕が生まれてからはいきなり「おじい」って呼ばれるようになってちよっと驚いた？おじいと過ごした十三年間は、楽しかったこと、嬉しかったこと、たくさんあったな。

いつも一緒にいてくれたこと、嬉しかったな。小学生になってから、幼稚園の頃やもっと小さい頃の写真を見返してみると、どこにいてもおじいが写っていて驚いたな。おじいは僕たちのことを心配してくれていたのだと僕は思っているよ。大きくなっただけからは、ベッドで寝ていたら布団に潜

り込んできたり、寝っ転がっている上に乗ってきたり、そんな甘えてくるおじいもとてもかわいかったよ。そんな時間が僕にとってはおとつても幸せで、だからこそ、おじいがない日常なんて想像することもできなかつたんだ。

おじいはおじいって呼ばれているだけじゃなくて、本当のおじいちゃんみたいとも思ってたよ。お母さんから「家族以外の人が来るとすぐに隠れてしまっていたのに、しゅうのことを初めて見たときは襲ったり逃げたりしなかつたんだよ。」という話を聞いた時には、おじいは僕が家族の一員だと分かつたんだなと思った。そして、やっぱりおじいは家族思いで、やさしいおじいちゃんみたいだなんて思ったよ。だからこそ、家の中ではいつも僕たちに寄り添ってくれていたのかもしれないね。

おじいが今もいたのだとしたら、たくさん抱っこしたりなでたりしたかつたな。おじいがいなくなつてから、一緒に過ごしていた何気ない一日一

日がとても幸せだったんだなって感じています。だから、いなくなってしまう時はすぐには信じられなかったし受け止めきれなかった。それでも、生まれた時からずっと一緒に過ごしてきたおじいの姿は、僕の心の中にずっと残っているよ。その姿は辛くなった時の心の支えになってくれると思う。今までおじいにはたくさん元気づけられてきたけど、それはこれから変わらない。おじいは大切な家族なんだから、これからもずっとそばにいてね。大好きだよ。

## 感謝と幸せ

石川中学校 二年 矢内 咲幸

私は、毎年あるこのコンクールが少し苦手です。私は家庭環境が少し複雑で小学校低学年の時は、お母さんに書きたいと思っていたから。

私が父に改めて感謝の気持ちをいただいたのは昨年の後半。それまでは、ただいるだけの存在でした。周りの友達にはお母さんがいて、少しうらやましかった。どんな感じなんだろうってずっと思っていました。まったく父に感謝していなかったし、祖母の方が好きでした。

でも、昨年中学生になって部活でとても忙しかった時期。自分も忙しくて大変なはずなのに、疲れた顔も見せず、文句もいわず応援してくれた。私は、こんな近くにこんなにあたたかい人が、私を見てくれている人がいたんだって実感した。どうして私はずっと、父の気持ちが分からなかったんだらうって思った。父も父なりに、母親がいないスキマを埋めようとしてくれているんだって感じました。昔、まだ自分で髪を結べなかったころ、結んだこともないのに私の髪を結んでくれた

ことあったよね。仕事があったのに、朝早くから私の大会を見に来てくれたこともあったよね。妹もいて大変なのに、たくさんのことをしてくれたよね。ずっと言いたかったし、伝えたかった、ありがとうという言葉。まだ言えてないけど、いつか伝えたい。ここに書いても、どうせ見れないけど、いつも迷惑ばかりかけてごめんなさい。お父さんなりに、がんばってくれていることに気づけなくてごめんなさい。そして、ありがとう。いつか、絶対に直接伝えるから待っていてほしい。

お父さんがつけてくれた名前、

「幸せが咲くように」。今までずっと、どうして私だけ……って思っていた。すごくつらかったし、お母さんと別れた日のこと今でも覚えている。悲しくてずっと泣いていたこと、そしてあの時、初めて感じたあの気持ちも。正直、全然幸せじゃなイと思っていた。幸せどころか少し心苦しかった。歳が上がるにつれて、周りの人にたくさん迷惑をかけている自覚があったから。でもお父さんの気持ちに気づけてから、私は幸せだって胸を張って言えます。



## 感謝の言葉

石川中学校 三年 円谷 美結

拝啓

お母さん、お父さん、いつも私達兄妹のことを大切に育ててくれてありがとう。

お父さんへ。ベトナムでの生活はどうですか？

数年前は、単身赴任をすると突然告げられ、どうなのかと心配でした。でも、年に数回会う度にいつもと変わらないお父さんの姿がそこにあり、安心してきるようになりました。毎日、朝から夜遅くまで私達のために、働いてくれてありがとう。昔、お父さんが働いている工場を見せてもらいました。とても細かい部品を作っていて、とても大変な作業だと思いました。それを毎日続けていて疲れていると思います。でも、帰ってきたら疲れている顔を私達には見せず、それどころか私達と遊んでくれる、そんなお父さんがカッコいいと思いました。今は、電話越

しにしか話すことはできないけど、帰ってきたら学校での出来事をたくさん話したいです。だから、これからも元気なお父さんで居てください。

お母さんへ。お父さんの分まで私達のことを愛してくれてありがとう。お父さんが単身赴任する中、兄と姉が一人暮らしを始めました。お母さんが一番に頼れるのは私なのに、いつも素直になれなくて、反抗してしまいます。素直になるのが下手で、お母さんを悲しませてごめんなさい。そんな時、お母さんは私のことを叱ってくれます。お父さんの分まで叱って私に正しい道を教えてくれます。私が「やりたい。」と言ったことには、反対せずに「やると決めたら最後までやるんだよ。」と挑戦させてくれます。毎日忙しいのに、必ず大会の時は応援に来て温かい目で見守ってくれます。お母さんのおかげで、どんなことにも挑戦できるようになりました。他にも、毎日のご飯や弁当、相談に乗ってくれたり看病してくれる、一つ一つに愛情を感じます。お父さん

が不在で私達が寂しくないように愛情をたくさん与えてくれるお母さんが大好きです。時々、兄や姉の所から真夜中に帰ってくる翌日、疲れているのに仕事に行く姿を見ると心配になります。こんな素直になれない娘だけど、お母さんの役に立ちたいと思っています。どうか、体に気をつけて休める時に休んでください。

最後に、二人の子供に生まれて来られて良かったと心の底から思います。二人のおかげで私は何不由なく暮らせています。二人のような大人になれるように頑張ります。

敬具

大好きなじいじへ

福島県立石川高等学校 二年 瀬谷 志穂

じいじは、いつも優しくて、おもしろくて、友達がたくさんいて私の自慢のじいじです。いつも優しくしてくれるじいじには感謝しかありません。いつももちやんと言えてないけどこの手紙で「ありがとうございます」を伝えたいと思います。

まず、高校に入学してからほぼ毎日、迎えに来てくれてありがとう。すごく助かってます。小学生の時の運動会で一緒に走ってくれてありがとう。一緒に一位になれてすごく嬉しかったよ。小学校の時の夏休みの宿題の習字を教えてくれてありがとう。じいじのおかげで賞ももらえたし、先生にほめてもらえるくらい上手くなれました。私の活躍を誰よりも喜んで、ほめてくれてありがとう。じいじが楽しみにしてくれてるから、テストとかが嫌でやりたくなくても頑張れたよ。

じいじは何でもできて、明るくてとても尊敬している所がたくさんあります。木を切る仕事をして

いたり、田んぼをいくつもやっていたりと毎日がとても大変なのに私の迎えをやってくれて自分も疲れてるはずなのにすごいなあとも思っています。一緒に山菜を採りに行った時も私より山の中を歩くのが早くてついていくのがやっとなかったです。重機とかの免許をたくさん持っていてすごいなあとも思っています。じいじにはたくさん友達がいて、じいじがいると周りに人が集まってきたりしないなあと思います。私もいつかじいじみたいな人になりたいと思っています。

私のじいじの好きな所はたくさんあります。一つ目はとても優しい所です。何かといつも私を気にかけてくれて、いつも私の味方で居てくれるじいじが大好きです。二つ目は、おもしろい所です。明るくて、いつも笑わせようとたくさん話しかけてくれる所が好きです。三つ目は、妊婦さんみたいなおなかです。たぬきの置き物みたいなフォルムがおもしろくて好きです。そして、親せきが来ると率先して場を盛り上げているところもいつもすごいなあと思います。じいじと出かけると知り合いの人

がじいじにはたくさんいてすごいなあと思います。  
じいじはおもしろいから人気者なんだなあと思  
います。

私はいつも優しくて、おもしろいじいじが大好き  
です。いつか旅行とかにも連れていけたらいいなあ  
と思っています。これからも、私の迎えとかよろし  
くお願いします。じいじとずっと一緒にいたいし、  
じいじがいないときびしいので長生きしてくださ  
い。また一緒に出かけようね。

【優秀賞入賞者】

- 「おじいちゃんおばあちゃんへ」
- 「いっしんへ」
- 「お母さんへ」
- 「じいちゃんありがとう」
- 「お兄ちゃんへ」
- 「感謝の気持ちを言葉に」
- 「天国のおばあちゃん」
- 「応援しているからね、ばあば」
- 「大好きなばばちゃんへ」
- 「お母さん、お父さんへ」

福島県立石川高等学校

- |       |    |     |    |
|-------|----|-----|----|
| 石川小学校 | 一年 | 川越  | 悠花 |
| 石川小学校 | 二年 | 中井  | 桜叶 |
| 石川小学校 | 三年 | 長澤  | 優  |
| 石川小学校 | 四年 | 金澤  | 澄怜 |
| 石川小学校 | 五年 | 長谷部 | 光希 |
| 石川小学校 | 六年 | 三森  | 悠生 |
| 石川中学校 | 一年 | 福田  | 悠水 |
| 石川中学校 | 二年 | 金澤  | 怜也 |
| 石川中学校 | 三年 | 林   | 美咲 |
| 石川中学校 | 二年 | 小木  | 楓花 |

【優良賞入賞者】

- 「ままへ」
- 「まきはあちゃんへ」
- 「おかあさんへ」
- 「麻絢へ」
- 「お父さんへ」
- 「大すきなお母さんへ」
- 「命のおん人の  
おじいちゃんとおばあちゃんへ」
- 「おじいちゃんいつもありがとう」
- 「お父さんへ」
- 「優しいひいばあちゃんへ」
- 「おばあちゃんへ大好きだよ」
- 「手をつなぐ」
- 「両親へ」
- 「家族と私」
- 「大切な両親へ」
- 「お母さんへ」
- 「二人のお兄ちゃんへ」
- 「天国のおじいちゃんへ」
- 「よろしくね」

福島県立石川高等学校

- |       |    |     |     |
|-------|----|-----|-----|
| 石川小学校 | 一年 | 満山  | 晴菜  |
| 石川小学校 | 一年 | 添田  | 心彩  |
| 石川小学校 | 二年 | 岡部  | 叶歩  |
| 石川小学校 | 二年 | 石井  | 凜   |
| 石川小学校 | 三年 | 添田  | 陽太  |
| 石川小学校 | 三年 | 菊池  | 美帆  |
| 石川小学校 | 四年 | 野木沢 | 弘曜  |
| 石川小学校 | 五年 | 福田  | 捷翔  |
| 石川小学校 | 五年 | 小林  | あいり |
| 石川小学校 | 五年 | 陣野  | 来々  |
| 石川小学校 | 六年 | 鈴木  | 彩夕菜 |
| 石川小学校 | 六年 | 陣野  | 来々  |
| 石川中学校 | 一年 | 松下  | ゆめの |
| 石川中学校 | 一年 | 藤島  | 希   |
| 石川中学校 | 二年 | 富岡  | 由愛  |
| 石川中学校 | 二年 | 中島  | 美紅  |
| 石川中学校 | 三年 | 大串  | 杏奈  |
| 石川中学校 | 三年 | 角田  | 絆   |
| 石川中学校 | 二年 | 関根  | 悠生  |

令和5年度 家族への手紙コンクール最優秀賞作品集

石川町青少年健全育成推進協議会 石川町教育委員会

〒963-7852 石川町字関根 165 石川町教育委員会生涯学習課  
電 話 0247-26-2566 F A X 0247-26-4992

